



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.31

地域連携病院②「鳴門山上病院」

今回は、鳴門市鳴門町にある鳴門山上病院をご紹介します。

■ 自分たちが利用したい施設

鳴門山上病院は自分たちの目線から受けたいケアを提供することを心がけ、日々の診療を行っています。入院患者さんは高齢の方が多く、特に療養から在宅へ戻れるようなリハビリテーションに尽力しています。患者さんの目線になって医療を提供したいという思いから、常に新しい試みを取り入れられるよう心がけています。例えば、はぐみ支援の認定、回復期病棟の設置、病院機能評価の取得などは、どれも県内で最初の病院となりました。

■ 病院が新しい姿に

平成30年5月1日から、鳴門山上病院は新しい建物での診療を開始しました。美しい徳島の海と山に隣接した立地を活かし、各病棟の談話スペースや6階のリハビリテーション室からその景色が一望できるような作りになっています。また、高齢の入院患者さんが多い鳴門山上病院では、全病棟に二重床を取り入れました。これは、転倒などの医療事故が発生した際でも、衝撃を吸収することで骨折などのケガのリスクを少なくするためのものです。旧病院では多くの催しなどで利用された多目的ホールがありましたが、新病院では、

旧病院の跡地に「リハビリテーション公園」を設置する予定です。自然の光を感じながら患者さんがのびのびとリハビリテーションに取り組めるような環境作りを行っています。



↑開院した新病院



↑鳴門の海が一望できるリビング

■ 徳島大学病院との連携

徳島大学病院からは、神経内科や皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科などの医師が派遣され、外来診療を行っています。また、総合診療部の医師育成協力病院として、今年度は後期研修医を一名受け入れています。今後はさらに連携を深め、顔の見える関係を築いていきます。

■ 鳴門山上病院からメッセージ

「傍らに有り 共に歩む」という目標を持ち、あらゆる人に寄り添った医療を、これからも提供していきます。患者さんやごご家族、また鳴門山上病院で働くスタッフにとって良き場所であり続けます。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人 久仁会 鳴門山上病院
徳島県鳴門市鳴門町土佐佐浦字
高砂205-29
tel.088-687-1234

■ 説明は(左から)

- ・下岡 和美(しもおか かずみ)
看護部長
- ・國友 一史(くにとも かずふみ)
病院長
- ・木内 美紀子(きのうち みきこ)
看護関連地域医療連携室長
- ・高橋 のぞみ(たかはし のぞみ)
社会福祉士

